

<p>投稿年月日</p>	<p>令和3年1月4日</p>	<p>投稿者</p>	<p>市内在住 男性</p>
<p>ご意見・ご提案内容</p>	<p>松本市長あなたは、農業出身でしたね。 まさか市長という権力に酔いしれて忘れてはいないでしょうね。 口之津港、有家小学校、給食センター、自転車道路 有馬商高サッカー場等大型事業ばかりに、うつつを抜かして無駄遣いすべきではありません。 観光事業に、うつつを抜かしてどうしますか。 南島原市は、観光的土壌ではありません。所詮、観光は一過性のものでしかありません。 農業で飯が食えるようにしましょう。農業後継者は必ず育ちます。 「農業立国南島原市」は、松本市長の名声は必ず歴史に残ります。 ①島鉄跡地の自転車道路計画は、即中止して農道に ②作物ごとに「作物土壌研究所」「農業専門学校」の設置を ③地域ごとに「主作物団地」を ④JAに頼らず「自主販売組織」を ⑤常に農作者と話し合い知恵を出してもらおう。 ⑥徹底した農地改良事業に資金を（給食センターの10億円無駄遣い、有馬商高の無駄遣い、自転車道路の不要、サッカー場の不要等の予算を農業施策に） ⑦いま親と同居しない後継者が多いようです。有馬商高跡地を後継者団地に ⑧もっともっと知恵を出し合えば世界的に有名な本当に最高に住んで良かったと言える南島原市に成ると思います。 松本市長絶対に忘れてはなりません。 「市民のために」「市民のために」「佐民のために」 あまり農業を知らない私が、思いつくままに述べましたが、あながち無駄な夢では無いと思います。 所詮、南島原市は、農業中心の自立以外に発展の道は無いと思います。</p>		
<p>回答</p>	<p>本市の基幹産業である農業は、家業的な経営体が大部分を占めており、その家の親族以外が農業に携わるにはハードルが高く、家業を継ぐ後継者がいない農家は廃業してしまうことから、農業後継者不足が懸案事項となっております。</p> <p>この状況の改善を図るため、本市発足からこれまでの間、農業後継者に対する支援や農業経営の強化のための施策、効率的な農業を推進するための農業生産施設の整備支援や圃場整備といった事業を切れ目なく実施しております。</p> <p>今後、農業経営の安定化、大規模化、もうかる産業化を図るため、引き続き、後継者対策をはじめ、ハウス等の生産設備整備の支援や新規作物の導入、圃場整備推進のための地元合意形成を推進するとともに、ICT（情報通信技術）の活用によるスマート農業や農業経営の法人化支援等について推進していくこととしています。</p>		

	<p>なお、島鉄跡地の自転車歩行者道路整備については、令和2年度から国の補助事業として採択されております。また、給食センターの整備につきましては、安全・安心な学校給食を子どもたちに提供していくため、施設の整備や維持・管理、今後の運営等について経済性も含めて総合的に勘案した結果、新設・統合することとして、今年9月の供用開始に向けて進んでいるところです。</p> <p>土壌調査や農業技術の習得に関しては、島原振興局農林水産部や農業大学校と連携しております。</p> <p>作物の団地化については、農業の特性上、その土地の気候、風土に合わせた作物が、それぞれの土地で作付けされているものと考えております。</p> <p>本市の農産物の出荷先については、2015年の農林業センサスでは、約半分がJAであり、JA以外の集出荷団体が約2割、卸売市場と食品製造業等がそれぞれ1割弱、消費者への直接販売が5%程度となっています。</p> <p>農業者との話し合いについては、業種別の市政懇談会をはじめ、農林課において各種団体との意見交換を行っており、その内容は市の施策に反映させております。</p>
担当課	財政課、農林課